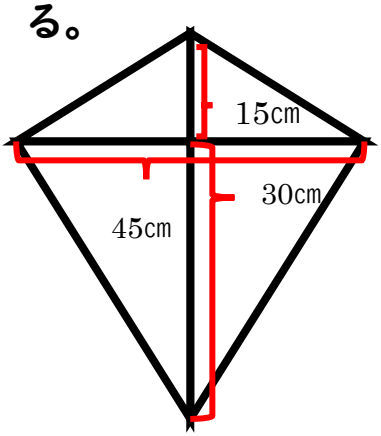
小金井公園凧の会監修

（よく飛ぶ）手作りダイヤ和凧をつくろう！

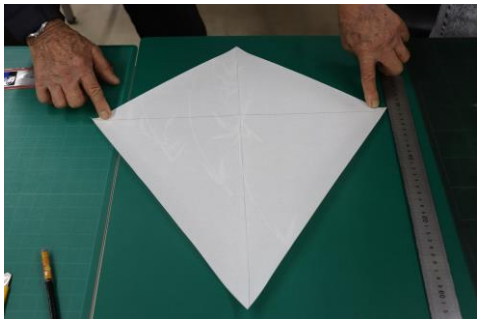
用意するもの：障子紙、竹ひご(直径3㎜かつ46㎝以上の物）1本、
竹ひご(直径1.5㎜かつ46㎝以上の物)1本、
両面テープ、木工用ボンド、カッター、 カッター板、剪定鋏(普通の鋏でも可)、縫い針、
木綿糸(30番・90mくらいのもの)、鉛筆、カラーペン、クリップのついたボールペン
(クリップや5円玉でも可)、厚紙

つくりかた

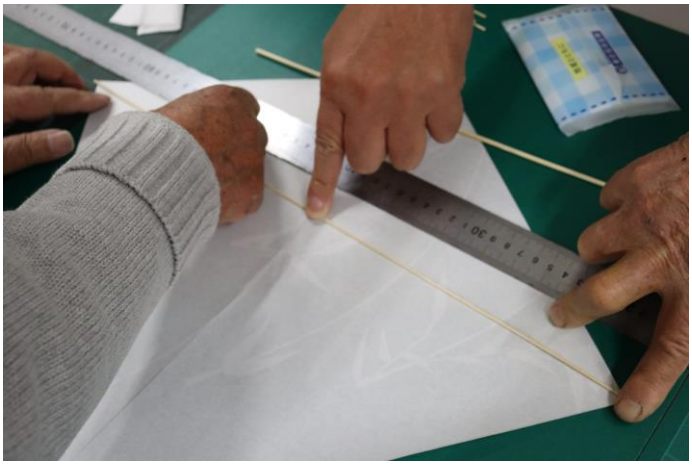
1．厚紙を以下の図のようにカットし、型紙を作る。型紙を当てながらカッターを使い和紙を切る。切った和紙を図のように折り目をつける。



金尺などを当てて切ると綺麗に切れる



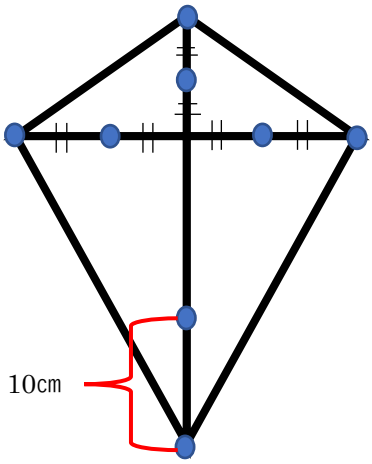
2．竹ひごを、2本とも45㎝に剪定鋏でカットし、細い竹ひご(1.5㎜)のたわむ方にボンドをつけて横の骨組をはる。同じように太い竹ひご(3㎜)を縦にはる。



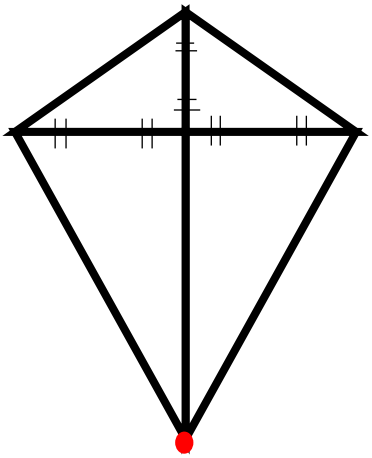
↑2本の線が交わる点を押さえながら、線の通りに貼るようにする

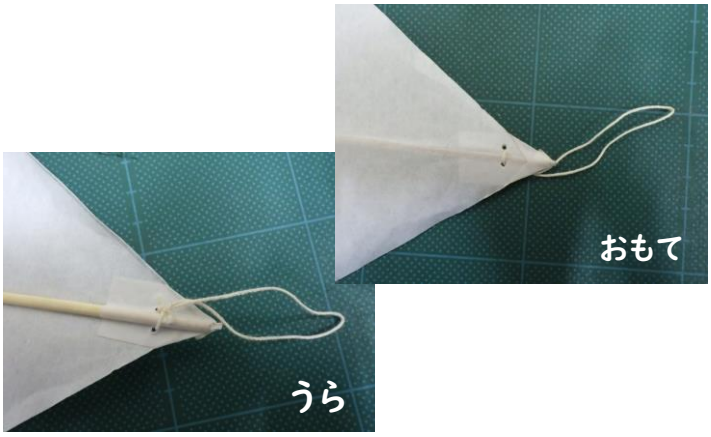
矢印の方向に負荷をかけてたわむ方にボンドをつける

3. 余っている和紙に両面テープを貼り、両面テープの大きさに和紙を切り、和紙テープを作る。和紙テープを図の青い丸の位置に貼り付ける。

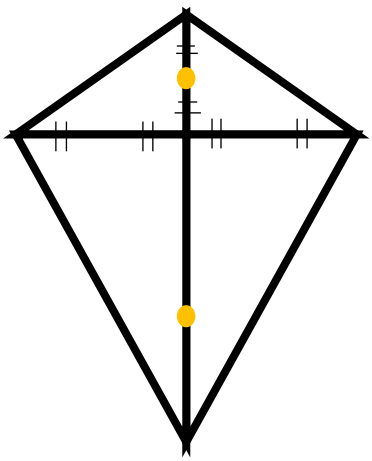


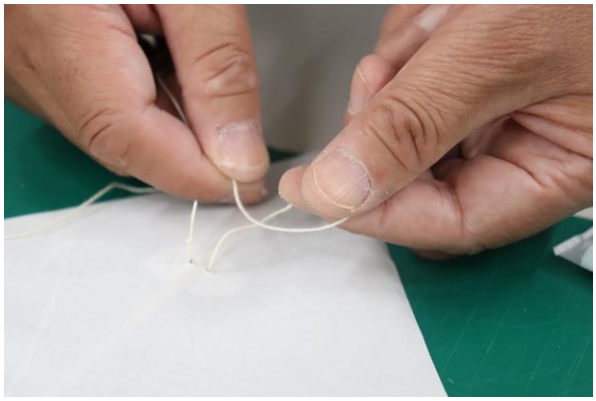
4. 糸25cm1本用意する。縫い針で2か所穴をあけて、図の赤い点に25cmの糸を凧の表から通してわっかを作る。





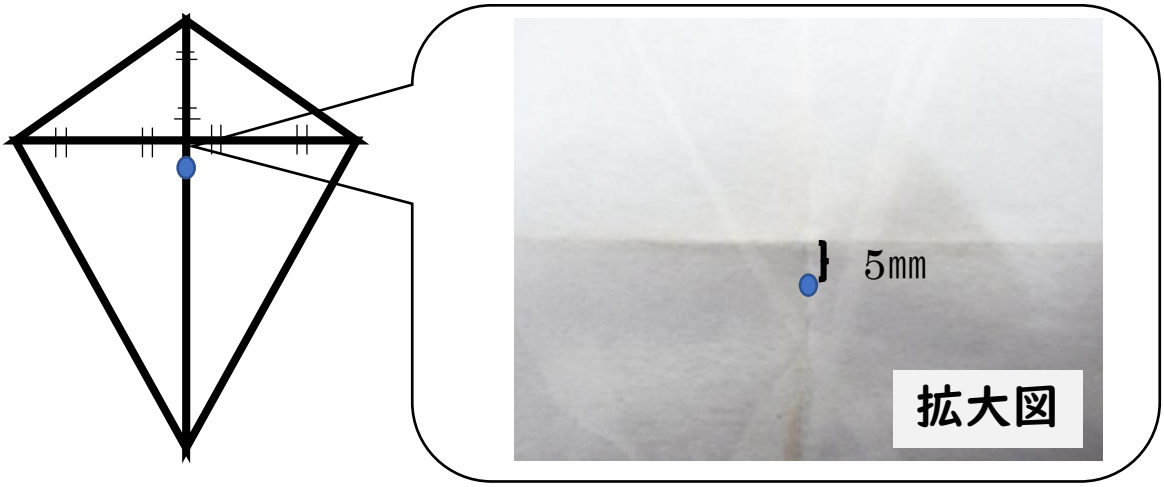
5. 糸75cm1本用意する。図の黄色の点(2か所)に縫い針で2か所穴をあけて、糸を凧の裏から通して結ぶ。





糸の先を玉結びをしてから、写真のようにわっかを作り、わっかを玉結びにかぶせて、玉結びした糸を押え、もう一方の引っ張ると簡単に結べる

6. 凧の表面の交差している箇所下5㎜に鉛筆などで印をつける



7. 凧の表面の糸にクリップのついたボールペンを図1のように通し、図2のように6で付けた印と糸の先が同じ個所に来るよう調整する。糸の先をわっかが出来るように結ぶ。

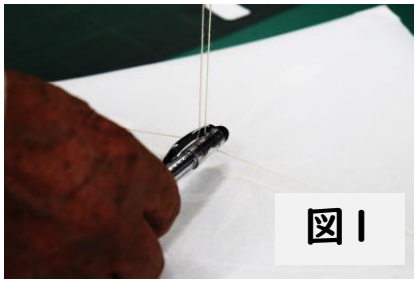


図1

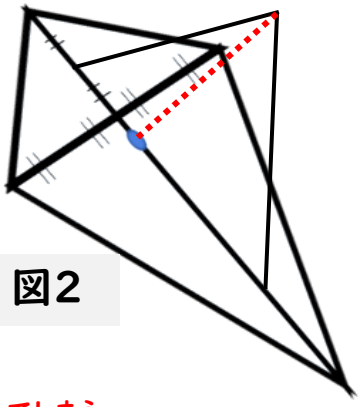
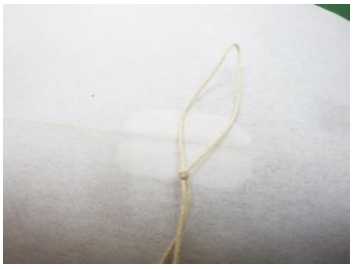
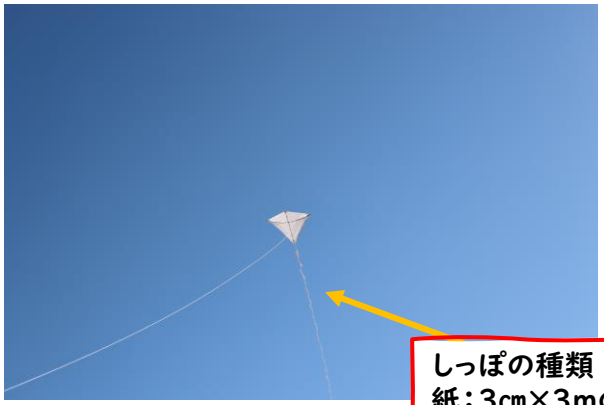


図2



ボールペンなどで位置を固定しながら結ぶ。
この位置がずれてしまうと上手く飛ばなくなってしまう。

8. 4で作ったわっかにしっぽをつける。7のわっかに糸巻きの糸をつければ完成!!



しっぽの種類
紙：3㎝×3mのもの
麻ひも：3m←名人おすすめ!
そのほかリボンや布切れでもOK

いろいろな糸巻き
ラップの芯とスチール缶が手ごろ